

第 51 期 中間事業報告書

(平成13年 9月21日から)
(平成14年 3月20日まで)

『しあわせ株式会社』をめざして

 マルサンアイ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

このほど当社第51期中間期（平成13年9月21日から平成14年3月20日まで）における会社状況につきまして、ここに中間事業報告書としてご報告申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

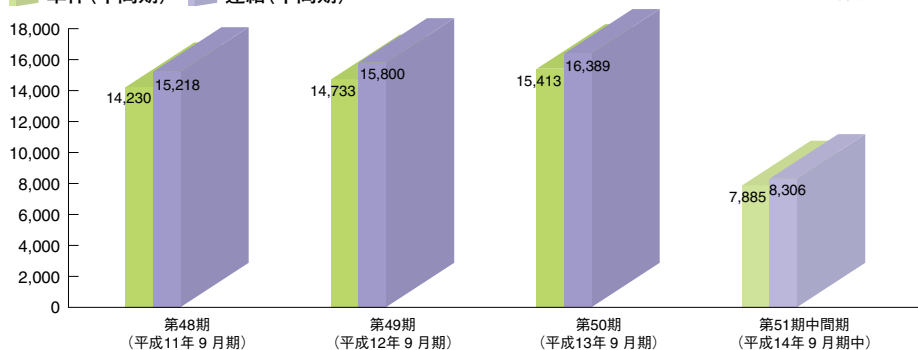
代表取締役社長 下 村 鈺 爾

業績の推移

● 売上高の推移

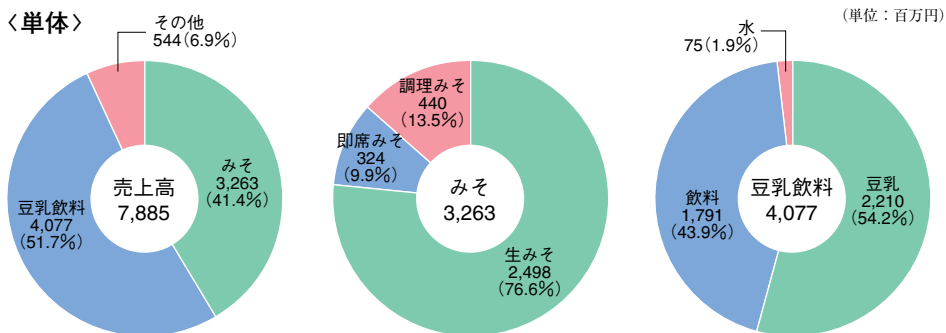
■ 単体(通期) ■ 連結(通期)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)

(単位：百万円)

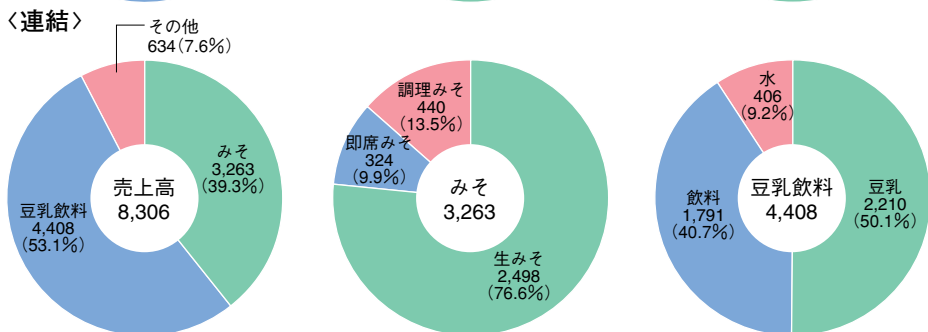


● 第51期中間期 (平成14年9月期中) 事業区分別売上構成、製品区分別売上構成

< 単体 >

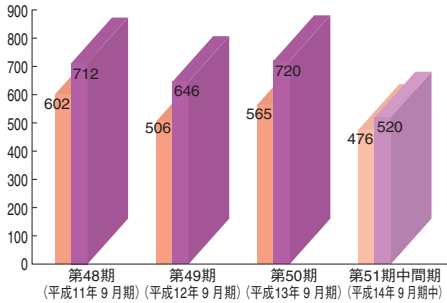


< 連結 >



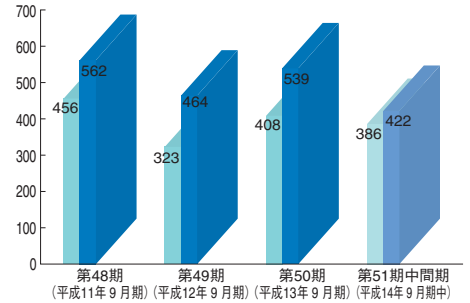
● 営業利益（単体・連結）

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位:百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



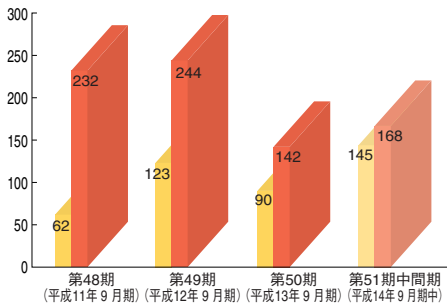
● 経常利益（単体・連結）

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位:百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



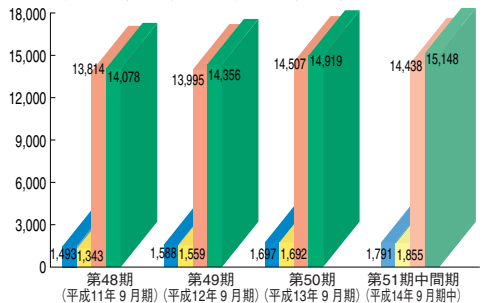
● 中間(当期)純利益（単体・連結）

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位:百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



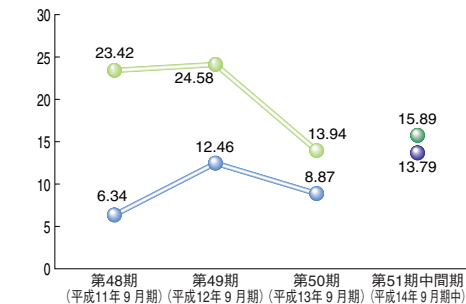
● 純資産額／総資産額（単体・連結）

■ 純資産額単体(通期) ■ 純資産額連結(通期) (単位:百万円)
■ 純資産額単体(中間期) ■ 純資産額連結(中間期)
■ 総資産額単体(通期) ■ 総資産額連結(通期)
■ 総資産額単体(中間期) ■ 総資産額連結(中間期)



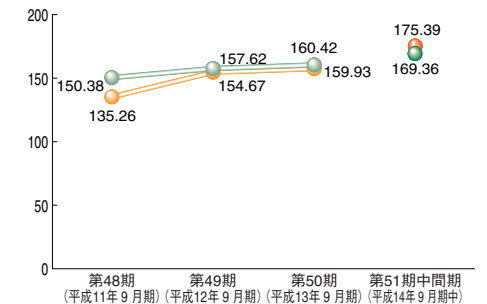
● 1株当たり当期純利益（単体・連結）

● 単体(中間期) ● 連結(中間期) (単位:円)
● 単体(通期) ● 連結(通期)



● 1株当たり純資産額（単体・連結）

● 単体(中間期) ● 連結(中間期) (単位:円)
● 単体(通期) ● 連結(通期)



営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国における同時多発テロ事件による、世界経済の低迷とペイオフ解禁を前にした金融不安の影響から大手企業の倒産、依然として失業率も高水準で推移するなど、回復の兆しが見えてこない極めて厳しい状況の中、企業業績及び株価も低迷を続けており、依然として厳しい環境下で推移いたしました。

食品業界におきましては、BSE（牛海綿状脳症）問題や、食肉の産地偽装表示事件などは、消費者の食品に対する信頼感を奪い取った結果となりました。

消費の低迷や、デフレ経済の進行は、食品価格のさらなる低価格を加速させ、企業業績に深刻なダメージを与えつづけております。

みそ業界におきましては、生産・出荷数量の減少に加え、ここ数年来のデフレ傾向による低価格化により、業界全体として深刻な状況となっております。

豆乳業界におきましては、ここ数年来の好調さに加え、BSE問題から、牛関連製品離れが進み、その影響からか牛乳から豆乳へ需要が一部シフトしたことなどにより、引き続き大幅な伸びとなりました。

このような環境の中で、当社グループは基本方針に基づき、安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、積極的な新製品の開発、安全・衛生・品質管理の徹底をし、事業の効率化に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は主に豆乳の販売が好調だったことにより、売上高8,306百万円、営業利益520百万円、経常利益422百万円、中間純利益は168百万円と予定を大きく上回る結果となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

① みそ事業

当中間連結会計期間におきましては、売上高は予定を若干下回り3,263百万円、営業利益は252百万円となりました。

<生みそ部門>

業界全体としてここ数年来の傾向である出荷量の減少により、生みそ出荷数量は14,732トン、売上高につきましては2,498百万円と、予定を若干下回る結果となりました。新製品として、じっくりと低温熟成させた「香粧」（かおりこうじ）を発売いたしました。

<即席みそ部門>

売上高は、ほぼ予定どおりの324百万円となりました。新製品として、「組み合わせいろいろ10食」、「山の幸のみそ汁あわせ」を発売いたしました。

<調理みそ部門>

売上高は予定を下回り440百万円となりました。新製品として、「レタスで韓国風サラダピリカラコチュジャン味」、「レタスで韓国風サラダあっさり塩味」、「今夜は炒めタッカルビ」、「今夜は炒めジャンパオジー」を発売いたしました。

みその市場規模は、長期的には横ばいから漸減傾向ですが、大豆のよさが最近あらためて見直されており、「みそ＝みそ汁」にこだわらず、今後は調味料としての新たなる需要拡大をはかってまいります。

② 豆乳飲料事業

当中間連結会計期間におきましては、売上高は予定を大きく上回り4,408百万円、営業利益は258百万円となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツINC.につきましては、持分法投資利益により22百万円を営業外収益に計上しております。

〈豆乳部門〉

豆乳の出荷量は、13,831キロリットル、売上高につきましても2,210百万円と引き続き予定以上に好調に推移しております。新製品として「豆乳飲料野菜とフルーツ」、「豆乳飲料オレンジヨーグルト味」を発売いたしました。

〈飲料部門〉

飲料の出荷数量は20,646キロリットル、売上高につきましては2,198百万円とともに予定を下回っております。

新製品といたしましては、「うめ&ミネラル」を発売いたしました。

豆乳におきましては、20年程前の豆乳ブームの時とは違い、品質や味も改善されてきており、消費者の健康意識の高まりとともに認知され、定着しつつあります。豆乳市場全体の規模はまだ小さく、これからも伸びが期待できると思われれます。

③ その他事業

当中間連結会計期間におきましては、ほぼ予定どおりの売上高634百万円、営業利益は9百万円となりました。内訳といたしましては、その他製品の売上高351百万円、他社商品及びその他の売上高282百万円となっております。

今後の景気動向は、米国経済の回復基調につれて国内経済の回復が期待されるものの、依然として高い失業率、春闘におけるベアゼロ回答などにより個人消費の低迷に一層の拍車がかかるものと思われ、さらに厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、環境問題への取組強化、食中毒や異物混入のないよう、引き続き環境面、安全面、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心のできる製品づくりを目指していく所存であります。

通期の見通しにつきましては、下半期は上半期に比べ、非遺伝子組み換え大豆の価格の上昇に加え、原油価格の上昇に伴うコストアップが予想されますが、売上高16,771百万円（前期比2.3%増）、経常利益620百万円（前期比14.9%増）、当期純利益220百万円（前期比55.1%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

マルサングループの概況

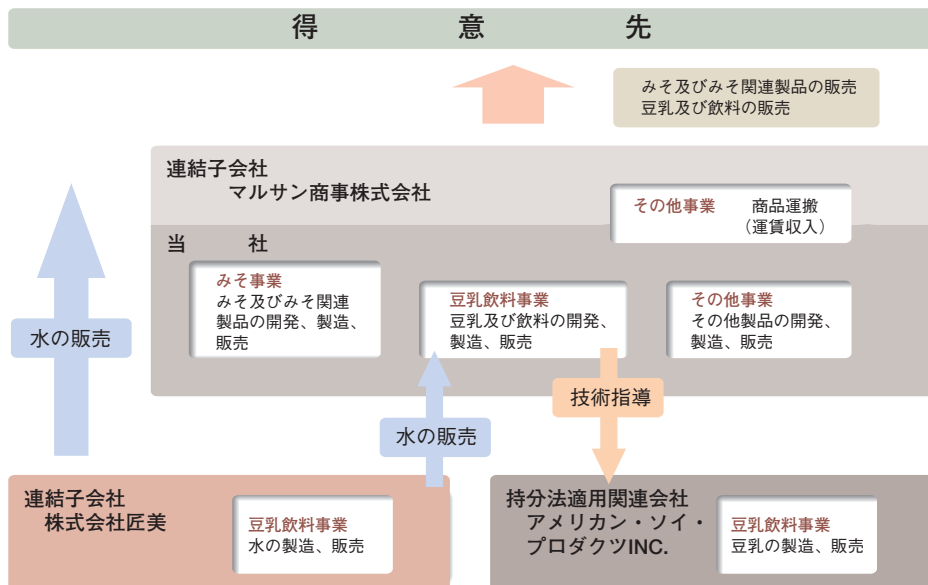
当社グループは、当社（マルサンアイ株式会社）と連結子会社2社（株式会社匠美、マルサン商事株式会社）及び持分法適用関連会社1社（アメリカン・ソイ・プロダクツINC.）により構成されており、みそ及び豆乳・飲料の製造販売を主な事業の内容としております。

当社グループの事業に係わる位置付け及び事業の種類別セグメントとの関連は、次のとおりであります。

セグメント	主 な 事 業 内 容	主 な 会 社
みそ事業	みそ及びみそ関連製品の開発、製造、販売 中分類として、みそ（生みそ）、即席みそ、調理みそ	当社
豆乳飲料事業	豆乳及び飲料の開発、製造、販売 中分類として、豆乳（OEM含む）、飲料（OEM含む）、水	当社 株式会社匠美 アメリカン・ソイ・プロダクツINC.
その他事業	その他製品の開発、製造、販売 中分類として、その他食品、他社商品、その他（運賃収入）	当社 マルサン商事株式会社

事業の系統図は、次のとおりであります。

[事業系統図]



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成14年3月20日現在)
資 産 の 部	
流 動 資 産	
現金及び預金	2,708,015
受取手形及び売掛金	3,411,983
たな卸資産	1,044,742
繰延税金資産	247,903
その他の	225,135
貸倒引当金	△ 1,593
流動資産合計	7,636,187
固 定 資 産	
有 形 固 定 資 産	
建物及び構築物	1,606,628
機械装置及び運搬具	1,717,975
土地	2,592,927
その他の	163,235
有形固定資産合計	6,080,767
無 形 固 定 資 産	29,064
投資その他の資産	
投資有価証券	778,089
繰延税金資産	374,246
その他の	252,018
貸倒引当金	△ 2,128
投資その他の資産合計	1,402,225
固 定 資 産 合 計	7,512,057
資 産 の 部 合 計	15,148,245

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成14年3月20日現在)
負 債 の 部	
流 動 負 債	
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,710,730
短 期 借 入 金	3,849,356
1 年 以 内 償 還 予 定 社 債	100,000
未 払 法 人 税 等	200,392
賞 与 引 当 金	328,605
未 払 金	929,962
そ の 他	418,511
流 動 負 債 合 計	7,537,557
固 定 負 債	
社 債	1,200,000
長 期 借 入 金	3,374,802
退 職 給 付 引 当 金	625,769
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	285,753
そ の 他	268,666
固 定 負 債 合 計	5,754,990
負 債 の 部 合 計	13,292,548
資 本 の 部	
資 本 金	562,144
資 本 準 備 金	309,020
連 結 剰 余 金	968,233
その他有価証券評価差額金	2,700
為 替 換 算 調 整 勘 定	19,308
自 己 株 式	308
資 本 の 部 合 計	1,855,696
負 債 及 び 資 本 の 部 合 計	15,148,245

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)
売上高	8,306,107
売上原価	5,561,331
売上総利益	2,744,776
販売費及び一般管理費	2,224,221
営業利益	520,554
営業外収益	
受取利息	1,277
持分法による投資利益	22,214
技術指導料収入	18,439
金利デリバティブ評価益	11,804
その他	16,713
営業外収益合計	70,449
営業外費用	
支払利息	113,380
社債発行費	17,400
その他	38,078
営業外費用合計	168,859
経常利益	422,144
特別利益	
貸倒引当金戻入益	4,291
特別利益合計	4,291
特別損失	
固定資産除却損	11,319
投資有価証券評価損	54,763
退職給付会計基準変更時差異償却額	63,356
特別損失合計	129,439
税金等調整前中間純利益	296,996
法人税、住民税及び事業税	202,150
法人税等調整額	△ 73,303
中間純利益	168,150

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)
連結剰余金期首残高	879,438
連結剰余金減少高	79,355
配当金	79,355
中間純利益	168,150
連結剰余金中間期末残高	968,233

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	597,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	585,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	526,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,334
現金及び現金同等物の増減額	534,108
現金及び現金同等物の期首残高	445,954
現金及び現金同等物の中間期末残高	980,063

単体中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第51期中間会計期間末 (平成14年3月20日現在)
資 産 の 部	
流 動 資 産	
現 金 及 び 預 金	2,659,599
受 取 手 形	334,267
売 掛 金	2,903,142
た な 卸 資 産	1,014,489
繰 延 税 金 資 産	240,800
そ の 他	245,109
貸 倒 引 当 金	△ 1,150
流 動 資 産 合 計	7,396,257
固 定 資 産	
有 形 固 定 資 産	
建 物	1,212,629
機 械 及 び 装 置	1,662,769
土 地	2,466,792
そ の 他	414,071
有 形 固 定 資 産 合 計	5,756,262
無 形 固 定 資 産	28,913
投 資 そ の 他 の 資 産	
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	266,000
繰 延 税 金 資 産	327,700
そ の 他	702,063
貸 倒 引 当 金	△ 2,218
子 会 社 投 資 損 失 引 当 金	△ 36,800
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	1,256,744
固 定 資 産 合 計	7,041,920
資 産 の 部 合 計	14,438,178

(単位：千円)

科 目		第51期中間会計期間末 (平成14年 3月20日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債		
支 払 手 形		906,397
買 掛 金		715,338
短 期 借 入 金		541,000
1年以内返済予定長期借入金		3,211,258
1年以内償還予定社債		100,000
未償与引当金		907,821
設備支払手形		305,701
その他		155,629
		445,081
流 動 負 債 合 計		7,288,227
固 定 負 債		
社 債		1,200,000
長 期 借 入 金		2,976,656
退 職 給 付 引 当 金		601,820
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金		277,943
債 務 保 証 損 失 引 当 金		33,000
その他		268,666
固 定 負 債 合 計		5,358,085
負 債 の 部 合 計		12,646,313
資 本 の 部		
資 本 金		
資 本 準 備 金		562,144
利 益 準 備 金		309,020
そ の 他 の 剰 余 金		111,220
任 意 積 立 金		
別 途 積 立 金		435,000
中 間 未 処 分 利 益		377,668
そ の 他 の 剰 余 金 合 計		812,668
その他有価証券評価差額金		2,878
自 己 株 式		308
資 本 の 部 合 計		1,791,865
負 債 及 び 資 本 の 部 合 計		14,438,178

単体中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	第51期中間会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)
売上高	7,885,435
売上原価	5,264,188
売上総利益	2,621,247
販売費及び一般管理費	2,144,811
営業利益	476,435
営業外収益	
受取利息及び割引料	7,127
技術指導料収入	18,439
その他の営業外収益	46,872
営業外収益合計	72,439
営業外費用	
支払利息	111,081
社債発行費用	17,400
その他の営業外費用	33,890
営業外費用合計	162,372
経常利益	386,502
特別利益	
貸倒引当金戻入益	4,409
特別利益合計	4,409
特別損失	
固定資産除却損	11,319
投資有価証券評価損	54,763
退職給付会計基準変更時差異償却額	59,954
特別損失合計	126,038
税引前中間純利益	264,874
法人税、住民税及び事業税	202,000
法人税等調整額	△ 83,000
中間純利益	145,874
前期繰越利益	231,794
中間未処分利益	377,668

会社の概況 (平成14年 3月20日現在)

- 商号 マルサンアイ株式会社
(英訳名：MARUSAN-AI CO., LTD.)
- 設立 昭和27年 3月 7日
- 主要な事業内容 大豆を主原料とするみそ、豆乳、無菌充填技術を生かした飲料類、その他食品の製造販売。
- 資本金 562,144,000円
- 従業員 346名
- 会計監査人 中央青山監査法人
東京都千代田区霞が関 3 - 2 - 5 霞が関ビル32階
- 役員 (平成14年 3月20日現在)

代表取締役社長		下 村 夙 爾
常務取締役	生産・関連事業・工場建設担当	岩 月 博 保
常務取締役	営業・購買・経営管理担当	彦 坂 忠 昭
常務取締役	品質保証・ISO・物流合理化担当	河 合 直 樹
取締役	開発本部長	小 川 脩
取締役	営業本部長	鍋 田 紘 一 郎
取締役	生産本部長	青 木 春 雄
取締役	管理本部長	鈴 木 擴 司
常勤監査役		村 松 茂 雄
監査役		前 田 忠 章
監査役		畝 部 泰 則

トピックス

- 平成13年12月 名証上場記念配の実施をいたしました。
上場記念配 2円50銭を含む合計一株につき 7円50銭。
- 平成14年1月 ホームページをリニューアルいたしました。
キャッチフレーズ「豆new生活はじまる」。
- 平成14年1月 新しいCMキャラクターにMELODY（メロディー）起用。
ハワイ出身の20歳です。
- 平成14年2月 当社豆乳飲料工場が「有機農産物加工食品製造業者」の認定を受ける。
- 平成14年3月 「マルサン倶楽部」スタート。
詳しくは、当社ホームページ(<http://www.marusanai.co.jp/>)をご覧ください。

春の新製品



香粧（かおりこうじ）



組み合わせいろいろ10食



山の幸のみそ汁あわせ



レタスマで韓国風サラダ
ピリカラコチュジャン味



レタスマで韓国風サラダ
あっさり塩味



今夜は炒め
タッカルビ



今夜は炒め
ジャンパオジー



豆乳飲料
野菜とフルーツ



豆乳飲料
オレンジヨーグルト味



うめ&ミネラル

主要製品



純正こうじみそ



高級赤だしみそ懐石



だし入りミックスみそ



だし入り高級赤だしみそ



カップ だし入りあわせみそ



カップ だし入り赤だしみそ



カップ だし入りこうじみそ



カップ 味の饗宴無添加生みそ



即席10食 みそ汁赤だし



即席10食 みそ汁あわせ



パウチ田楽みそ



カンタンお料理みそ



有機豆乳無調整



調製豆乳



麦芽豆乳



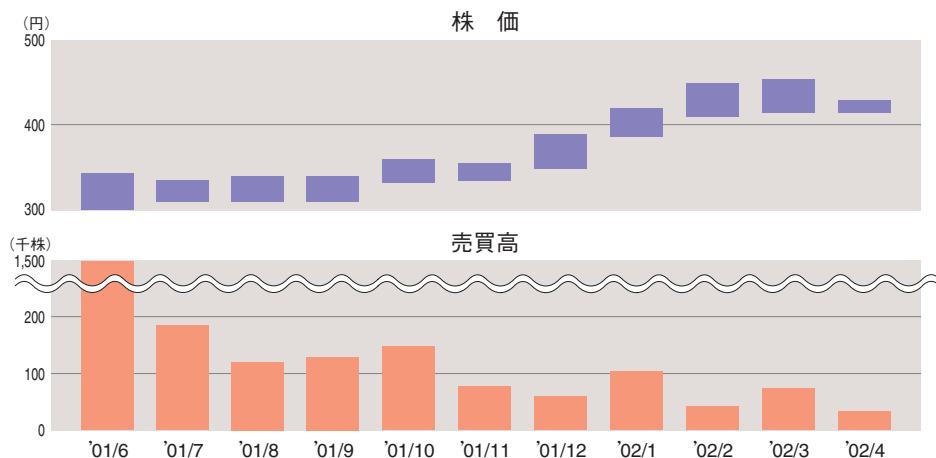
抹茶豆乳

株式の状況 (平成14年 3月20日現在)

- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 10,580,880株
- 株 主 数 695名
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率	持 株 数	持 株 比 率
株 式 会 社 佐 藤 産 業	1,525,300 株	14.42 %	—	—
マルサンアイ従業員持株会	1,456,900	13.77	—	—
佐 藤 公 信	695,420	6.57	—	—
石 田 卓	604,060	5.71	—	—
佐 藤 不 二 子	416,300	3.93	—	—
下 村 夙 爾	252,180	2.38	—	—
杉 浦 義 基	177,260	1.68	—	—
株 式 会 社 U F J 銀 行	170,000	1.61	—	—
中 島 典 子	169,800	1.60	—	—
中 島 治 夫	169,800	1.60	—	—
福 島 重 喜	169,800	1.60	—	—
福 島 裕 子	169,800	1.60	—	—

● 株価等の推移



(注) 当社は平成13年 6月14日に名古屋証券取引所市場第二部に新規上場いたしました。

株主メモ

決算期	毎年9月20日
定時株主総会	毎年12月
利益配当金受領株主確定日	9月20日 なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、3月20日であります。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部（証券コード：2551）
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄二丁目3番6号（☎460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 ☎(052)231-1145
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取請求場所	名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所 (財団法人証券保管振替機構に預託されている単元未満株式については、お取引の証券会社等にお申し出下さい。) (注) 財団法人証券保管振替機構は平成14年6月17日をもって、株式会社証券保管振替機構に変更する予定であります。

《お知らせ》

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

● 株主優待のお知らせ ●

毎年9月20日及び3月20日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、当社製品（定価3,000円相当）を毎年12月及び6月に贈呈いたします。



昨年12月の株主優待品

『しあわせ株式会社』をめざして

大豆のよさを広くお客様に知っていただくために『おいしさ』を追い求め、『健康』で『楽しい』生活の応援ができることがわが社の喜びである。そのため、安全で安心できる食品を提供し、数ある製品の中からわが社の製品を選んでいただけるものをたくさん提供する事で適正な利潤を得て株主への還元、社員の満足度の向上、社会への貢献ができる企業となる。即ち、私達が志をひとつにして全員でめざしているのが『しあわせ株式会社』づくりである。

● ホームページ ●

<http://www.marusanai.co.jp/>



 **マルサンアイ株式会社**

本社 / 〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下 1 番地
TEL (0564) 27-3700 FAX (0564) 27-3714